

B-1 絹糸繊維の洗淨による諸性能の変化について

東京学芸大教育　○岡野美智子　岩崎芽枝

目的 絹糸繊維 (Silk like fiber) の洗淨による諸性能の変化を測定し、取扱以上の問題点を明らかにする。

方法 ナイロン・ポリエステルの変形断面繊維、ベンゾエート繊維、アクリルニトリルとカゼインの共重合繊維 (フロミックス) の4種の絹糸繊維と、比較対照のため絹糸を加え、これらの斜交織物を試料とした。家庭用電気洗たく機を用いて、1・10・20・30時間洗淨し、洗淨した試料について、引張強度・伸度、防しわ度 剛軟度、ドレープ係数を測定した。測定法はそれぞれJIS L 化学繊維織物試験方法によつた。また、フェードテスターを用いて、カーボンアーク灯により、1・10・100・200時間照射して、強伸度の変化を測定した。さらに、再汚染性についても検討した。

結果 1. 電気洗たく機洗淨による諸性能の変化…ナイロン・ポリエステルの変形断面繊維、ベンゾエートでは、ナイロンが防しわ性が低下するほかは、30時間程度の洗淨では、諸性能は殆んど変化しない。絹は諸性能の低下が甚しい。フロミックスは、他の合成繊維に比して、諸性能の低下は大きいが、絹より、その程度は低い。2. 耐光性…ナイロン・絹の強伸度の低下が大であつた。ナイロンでは、200時間照射により、強伸度とも約70%低下する。絹では、同時間照射した場合、強度約95%、伸度約75%低下した。他は、これらに比し、低下率は少ない。3. 再汚染性…フロミックスは最も汚染されやすく、ベンゾエートが最も汚染されなかつた。